

「Fukuoka Art Next」今月のアート（4月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

KYNE

1988年生まれ。福岡を拠点とするアーティスト。大学で学んだ日本画や1980年代の文化などを取り入れた、スタイリッシュな女性を描いた絵画作品で、国内外で注目を集める。2020年から2022年に壁画を公開し、大きな話題となった福岡市美術館において、国内初となる大規模個展「ADAPTATION - KYNE」（4月20日～6月30日）が開催される。

■ 作品について



作家名 : KYNE
作品名 : Untitled
制作年 : 2021年
材質技法 : アクリル・画布
サイズ : 100×50 (cm)

人の形に切り抜かれたキャンバスに、ショートヘアの女性が描かれています。胸より上の正面向きの構図は、ちょうど証明写真のようです。KYNEは、限られた色と無駄を省いた線で女性を描いており、アンニュイで謎めいた表情は、観る人の心を惹きつけます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：ラワンチャイクン、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：rawan@fukuoka-art-museum.jp